

〔専門医による講話〕

- 1 テーマ 「知ってほしいところとからだの話
～大人になるってどういうこと?～」
- 2 対象 5・6年児童、教職員、保護者
- 3 専門医 井上 聡子 医師
(さとこ女性クリニック)
- 4 実施月 10月
- 5 内容(キーワード)



いのちの学習(性に関する指導)、二次性徴、生命継承、自立
人間関係と他者との関わり(大人になる心)、性の多様性、HPV ワクチン

評価(あてはまるものに○をつけ、理由を記入)

①健康課題の解決について

(○)とても有効だった

()有効だった

()課題が残った

<その理由>

*思春期を迎え、体の変化や体型をメディアからの情報や周囲と比較して不安を抱えている児童もいる中で、専門家である医師から「大丈夫、心配ない」とお話しただけで、思春期は心も身体も不安定に変化していくこと、そして、個人差が大きいことなどを肯定的に受け止めることができたようである。

*「大人になる」ということを、身体面だけでなく、精神面、社会性の面からもアプローチしていただいたことで、目指すべき大人の姿や望ましい行動を具体的に思い描き、日頃の自分の生活や言動、周囲の人との関わり方を振り返り、物事の見方や考え方、生活態度を見直すきっかけとなった。

②校内の組織づくりについて

(○)とても有効だった

(○)有効だった

()課題が残った

<その理由>

*「いのちの教育」年間カリキュラムの一環として外部講師を招くことで、担任や養護教諭による授業の補完や児童の学びの深化を促すことができるように企画運営している。また、5年生と6年生の2年にわたって授業を受けることで、児童がより自分事として指導内容の理解を深めることができると感じる。

③校外の関係機関等との連携について(派遣専門医を含む)

(○)とても有効だった

()有効だった

()課題が残った

<その理由>

*5、6年児童の保護者に限らず全保護者に講座の参観希望を募り、下学年保護者にも参加していただくことができた。他にも、学級通信や保健便りを通して授業内容や児童の感想を家庭に伝え、関心を持っていただけるよう働きかけている。専門医には、本校児童の状況を伝え授業内容について事前に相談させていただいたり、児童の質問に回答していただいたりして、大変ありがたく思っている。

〔教科やその他の指導との関連性〕

○町内養護教諭会議で作成している統一の年間計画に沿って「いのちの教育」を行っている。講座の内容は、生活科や道徳、理科や保健、学活などで学んできた内容も含まれた授業構成だった。総合的な学習の時間の「生き方を学ぶ」に関連する内容も含まれていた。

〔受講者の感想など〕

○昨年学んだことを思い出しながらお話を聞くことができた。私は人より成長が早くて恥ずかしい時期もあったが、先生の話聞いて、みんないずれは成長するので大丈夫という気がした。生理痛がひどい時があるので、薬が効かない時に産婦人科に行ってみようと思った。

○産婦人科のことや赤ちゃんのこと、体のことについてよく知ることができた。「妊娠=怖い」と思っていたが、大人になるということだなど知ることができた。女の子は忙しいし、イライラしちゃうときもあるが、それは普通なのだなと安心した。